

ゆうれい城へ引っ越し

工学部1回生 のびえもん (HN)

さて、さっそくこの話を読んで感じたことなどを書いていこうと思うのですが、全く知らない人もいるかもしれないので、おおまかなあらすじを書きます。(知っている人は読み飛ばしてもらって構いません)

のび太のパパとママが引っ越しの話をしていたが、資金が一千万円までしか用意できず、とうぶん借家ぐらしが続きそうだと saying していた。のび太がそれをドラえもんに話すと、ドイツにその値段で買えるミュンヒハウゼン城があると言ひ、どこでもドアで見に行くことに……。そしてそこでお城の持ち主であるロッテ・ミュンヒハウゼンとその叔父のヨーゼフに出会う。2人はこのお城にゆうれいが出るらしいと言ったが、とりあえず、しばらくそのお城で暮らしてみることにした。そして、ある夜、かざってあるように見えたよろい動き出すのを見て、日本に逃げ帰った。そのあとロッテがよろいの正体が叔父だと気づき、追いかけたが、逆に地下牢に閉じ込められてしまった。よろいの正体であるヨーゼフは先祖がお城に埋めたといいつたえられる財宝を探していたのだ。ロッテが行方不明になったことをのび太たちは新聞で知り、タイムマシンで、ミュンヒハウゼン城を建てたご先祖をお城に連れて行った。そしてヨーゼフからロッテの居場所を聞き出し、ご先祖が残した財宝をロッテは託され、ミュンヒハウゼン家のかつての栄光を取り戻す約束を交わした……

この話は、一風変わっていて書きたいことがいろいろあるのですが、今回は3つのポイントに分けて書きたいと思います。1つ目のポイントは

- ・異国の雰囲気強く感じる事

ドラえもんでは、宇宙に行ったり、昔のアジアやアメリカに行ったりすることはありますが、現代の外国が話の舞台になることは実はあまりありません。

この話はドイツが舞台であり、登場人物やお城の様子もいかにも西洋の雰囲気であり、いつものドラえもんとは一味違った世界観を味わうことができると思ひます。特にお城の様子は繊細かつ大胆に描かれていて、見どころの1つになっています。そして2つ目のポイントは

- ・日常と非日常の融合

藤子・F・不二雄はもともとドラえもんの作風をSF(すこし・不思議)と独自の定義をしていました。そしてこの作品はまさしくそれを見事に描いていると思ひます。

まず、先ほどと少しかぶってしまうのですが、外国が舞台であることが1つ、そしてタイトルにも書いてあるゆうれい、そしてお城を買うという話、これらが日常と非日常の融合を感じさせてくれているのだと思います。

外国に行くということは、現実世界の我々にとってはちょうどわかりやすい非日常ではないでしょうか。アニメなどではよくあることかもしれませんが、日本と異なる雰囲気を浮き彫りにして描くことで、読んでいる私たちも非日常を感じることができるのではないかと思います。

そしてゆうれいという言葉もまた非日常を強く感じさせてくれます。この話では結局本物のゆうれいは出てきませんでした。このお城にゆうれいがいるのではないかという目線で読むことで、このちょっと古風なお城がより不気味なものと感じられるのかもしれない。

また、お城を買うという話も、ある意味で非日常と言えるでしょう。ごく一部の人の人にとってはあり得ることかもしれませんが、普通の人にとっては、宝くじに当たることと同じように不可能なことでしょう。

そして、この話のすごいところはこれらの非日常を、ひみつ道具をほとんど使わずに体験しているということです。外国に行くのにどこでもドアを使ったり、ご先祖を連れてくるのにタイムマシンを使ったりはしていますが、先ほど述べたことは全て条件さえそろえば誰でも体験できることです。

このように日常で本当に起きるかもしれないことを、非日常的に上手く表現することで、日常と非日常が見事に融合したSF（すこし・不思議）になったと言えるでしょう。そして最後は

・深みがありながら爽やかな結末

やはり本当の傑作は、話に深みがあるものでありますし、かといって結末が重苦しいものではなく、希望を感じさせるものになっている必要があります。

この話はロッテの叔父が、お金欲しさにゆうれいのフリをして、人々をおどかし、さらにはロッテを地下牢に閉じ込めるという、ある意味でとても深刻な話といえます。

しかしなぜこの話が爽やかといえるかという、たぶんロッテの態度の爽やかさに起因していると思います。漫画では言っていませんでしたが、アニメで放送されたとき、ロッテは「悪いのは、叔父さんにとりついた悪霊よ。」とっていました。

人が何か悪いことをしても、その源が必ずしも完全な悪とは限らない、と考えることが、人生を本当の意味で楽しいものにできるということも、この話は伝えているのかもしれない。このあとヨーゼフがきちんと反省し、本当のハッピーエンドを迎えていることを祈りたいです！

さてこれで「ゆうれい城へひっこし」の紹介を終わります。言いたいことが伝わったかわかりませんが、これを読んで面白そうだと感じた方が少しでもいてくれると嬉しいです。

